

## 第44回全国中学生テニス大会に協賛

南国沖縄で、おもちの魅力をアピール！

全国餅工業協同組合は、2017(平成29)年8月18日(金)～24日(木)に沖縄県総合運動公園で開催された「第44回全国中学生テニス大会」に協賛し、国内産水稲もち米100%使用の包装餅のプロモーションを行いました。



近年、錦織圭選手の活躍などで老若男女さまざまな人々から注目されるテニス。その競技熱は高まるばかりで、現在の国内のテニス人口は439万人※とも推計されています。

※公益財団法人日本テニス協会調べ(平成28年度テニス環境等実態調査)

コート内を縦横無尽に駆け回り、試合がもつれればジュニアでも一時間以上にも及ぶテニス競技は、まさにスタミナとの戦いです。テニスの指南書等にも、体内にグリコーゲンを蓄えておくカーボローディングの有効性が頻繁に言及されているほどです。

そこで全餅工では、大会に出場する選手をはじめ保護者や指導者の皆さまに向けて、お餅がスポーツ時の栄養補給やカーボローディングの実践に適した食品であることを伝え、日常でのお餅の摂取を促すことを目的にPR活動を行いました。

大会には、団体戦(ダブルス×2、シングルス×3の団体トーナメント戦)に男女各32校、個人戦シングルスに男女各64名、個人戦ダブルスに男女各32組が出場しました。

出場校の顔ぶれも、北は北海道から南は沖縄まで、全国各地から第一線級の選手たちが集結。選手たちにお餅とスポーツの親和性について理解を深めて頂き、大会後も彼らが地元へ戻ってインフルエンサーとなって友人や知人、後輩の方々へお餅の有効性を広めて頂ければと願い、お餅の機能性や魅力の啓発に努めました。

8月18日(金)、開会式に先立って開かれた監督会議では出場登録選手全員の切り餅セット(カーボローディング漫画入り切り餅パック、リーフレット等)を配布しました。



また、会場内に設置した全餅工特設テントブースや、開会式が行われたレクドーム前では、おもに応援に訪れた家族や関係者を対象に切り餅セットのサンプリング配布を実施。

暑い中でお餅のプロモーションは“意外”と思われる方々に、お餅とスポーツの深い繋がりや、国内産水稲もち米100%使用の包装餅の安全性や魅力をアピールして、理解の促進を図りました。



地元沖縄の選手たちや保護者にお聞きしたところ、沖縄本島やその周辺地域には、「ムーチー」と呼ばれる餅文化があるそうです。餅粉をこねて、黒糖や紅芋などで味付けをして月桃の葉で包んで蒸した食べ物で、健康や長寿祈願の縁起物でもあると伝えられています。

このような古来から伝わる大切な食文化を若い世代へ継承するとともに、餅の機能性や国内産水稲もち米100%使用の包装餅の魅力を、より多くの方々に向けて一層アピールしていくため、全国餅工業協同組合では今後もスポーツ振興とプロモーション活動を推進してまいります。

